新年の挨拶

相談役理事　南　正博
（前理事長）

新年明けましておめでとうございます。

月日の流れは早いもので、「特別養護老人ホーム西長洲荘」、「ケアハウスふれ愛花みずき」も本年3月で開設２０年を迎えます。この間、順調に発展してこれましたのは、ご利用者、ご家族をはじめ、施設運営にご協力をいただいている地域の方々、各関係機関の方々のおかげだと思っております。

そして、私としましても、昨年は法人創立２０年という節目まで、理事長職を務めて来られましたのは、ご支援ご協力を頂いている多くの皆様と当法人の職員のお蔭と感謝しております。

次の１０年、２０年に向けて、大中孝二理事長に職をお譲りできた事は嬉しい限りです。今後は一理事として、相談役として「平成会」の更なる発展のお手伝いをさせて頂きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、色々の意味で激動で、輝かしい“昭和”６４年、“平成”３１年そして令和元年が終わり、新しい年、令和２年が始まりました。

昨今、介護業界に限らず、未曾有の人手不足です。どの業界でも、人手不足対策に奔走しています。そうした人手不足への対策を考えてみると、「新規職員の採用」、「新卒者の採用」、「既存職員の定着」の他に、「これまで勤めた職員の復職」という観点があります。

復職には、転職後の元法人への再転職の他に、結婚・出産、健康上の理由などのライフ・イベントによって一時的に職場を離れ、その後戻ってくるケースです。

同じ人材確保という点で言えば、「復職」は経験者を再度雇用する分、教育コストも低く、実現すれば大きな効果をもたらします。

これからは未曾有の人手不足時代です。離職者のことも大切な人材として見続ける、そうした人に対するスタンスを保持し、伝えていきます。

どうぞ、今後益々のご支援、ご協力お願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

理事長　大中　孝二

あけましておめでとうございます

２０２０年の新春を迎えるにあたり一言ご挨拶を申しあげます。

日頃は社会福祉法人平成会「西長洲荘」「芦風荘」の事業運営に多大なるご協力とご支援を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

また、特別養護老人ホーム「西長洲荘」ケアハウス「ふれ愛花みずき」はこの春で２０周年となります。

これも偏にご入居者様、ご利用者様をはじめご家族皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

当法人の創設者でもある南正博相談役理事も、ご入居者様並びにご利用者様とのご拝顔を毎日楽しみに巡回されておられます。

さて、今年の最大のイベントは何と言っても東京オリンピック・パラリンピックではないでしょうか。世界各国から集まる選手団や応援団が東京のみならず日本中にハイレベルな競技と友好の輪を広げてくれることを期待しております。みなさんと共に一生懸命応援しましょう。

ところで、当法人の「西長洲荘」は建設から２０年が経ち、施設の老朽化に対応するために昨年秋から年末まで、電気設備や空調設備等大規模なリニューアル工事をいたしました。その際には、ご入居者並びにご利用者様には大変なご不便をおかけしたかと存じますが、お陰様にて無事工事を完了することができましたことは、皆様のご協力のお陰と厚くお礼申し上げます。より良い快適で安全な施設環境を整えるために今後とも適宜に適切な改善改修を進めて参る所存でございます。

それから、今年の1月17日で発生から２５年となる阪神・淡路大震災では多くの尊い命と財産が失われました。今、世界中では、地球温暖化の影響により全国各地で大変な被害がもたらされております。日本国内にあっても、昨年の台風１９号により、過去に類を見ない想定外の被害と多くの犠牲者が出ました。自然を相手に我々ができる対策には限界がありますが、ご入居者様とご利用者様の安全安心な生活を明るく元気な職員と共にお支え申し上げたいと念じております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします